

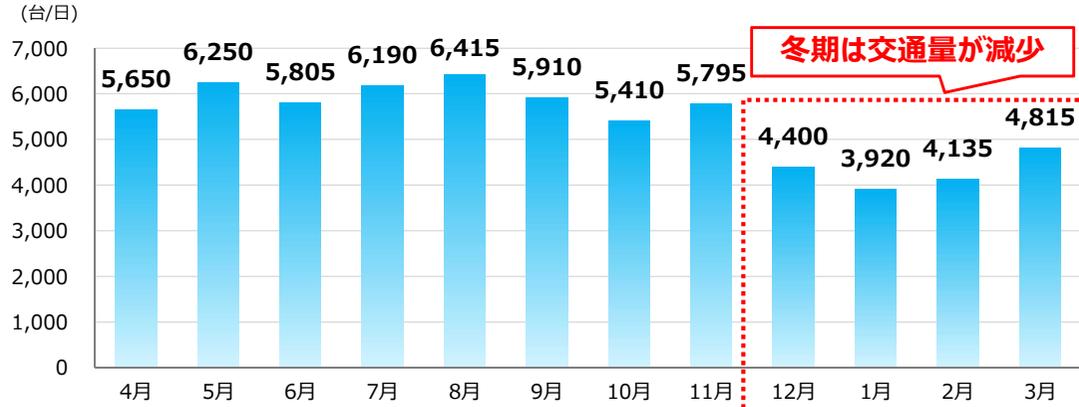
# 内陸と沿岸を結ぶ観光流動を支援

- ◆岩手県は宮古市などの沿岸部や、盛岡市などの内陸部に観光資源が多く立地し、国道106号が内陸と沿岸を結ぶ重要路線。
- ◆国道106号を観光目的で利用する際の問題・課題の3番目に「冬期の走行性悪化」が挙げられ、冬期（12～3月）の交通量が減少。
- ◆区界道路を含めた宮古盛岡横断道路の開通により、内陸と沿岸地域を結ぶ冬期の観光流動を支援。

▼国道106号周辺の主要観光地

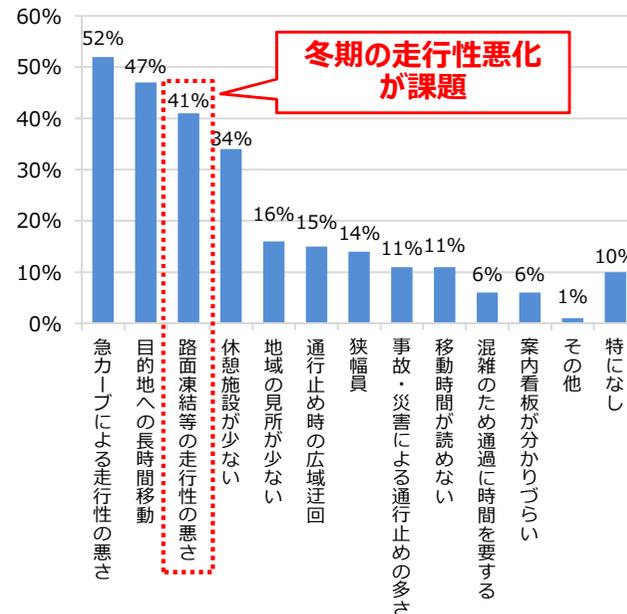


▼国道106号 断面交通量（休日）



資料：「断面交通量情報」（公益財団法人日本道路交通情報センター）、H30～R1年度平均

▼国道106号（宮古盛岡横断道路）を観光目的で利用する際の問題・課題



資料：H30観光WEBアンケート調査（N=140）

## 《各観光関係者の声》

- ・開通により、内陸と沿岸の交流人口の促進や内陸からの誘客に期待しています。特に冬期の走行不安が解消され、来やすくなると思います。
- ・毛ガニ祭り等のイベントや震災学習についても利用客増加に期待しています。

(R2.9 宮古観光文化交流協会 ヒアリング結果)

- ・現状では沿岸部からの入込は少ないですが、開通により沿岸部からの個人誘客拡大が期待できます。
- ・沿岸部は雪が少ないので、冬期イベント等への入込みが期待できます。

(R2.9 内陸観光地 ヒアリング結果)

▼つなぎ温泉（盛岡市）



▼宮古毛ガニ祭り（宮古市）



▼小岩井農場（雫石町）



▼田老防潮堤（震災学習）（宮古市）

